



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

# ネット通信 花便り

No.38 (2015年12月号)



<ハンギングバスケットづくり研修を終えて 舞鶴公園にて>

## 目次

9月からの主な活動の報告！	2
アイランドシティ中央公園で活動しています	4
介護の現場から園芸福祉を考える	5
福岡市立中央特別支援学校の花活動	6
憧れのスイス	7
事務局からのお知らせ	9
園芸福祉の庭のいま	10

9月からの主な活動の報告！

◇ グリッピーキャンペーン2015が10月17日（土）・18日（日）秋晴れの青空のもと舞鶴公園西側広場で開催されました。



園芸福祉ふくおかネットの出展は、ミニエコ鉢づくり体験、多肉の寄せ植え体験、種でお絵描き、緑の恵み、園芸福祉ショップ、花と緑の園芸相談コーナー、ハンギングバスケットでお出迎えなど盛り沢山の出展となりました。

会員が心を込めて作成したハンギングバスケットは、事前に舞鶴公園平和台陸上競技場前や明治通り、城内通りにポスター、チラシと一緒に展示して開催をアピールしました。また大濠

公園から会場へのメインゲート前にお客様をお出迎えするウエルカムフラワーとして展示、多くの方々にお楽しみいただき、写真撮影もされていました。



ウエルカムフラワーとしてメインゲート前両側に展示



種でお絵描きは、素晴らしい作品が続出！



多肉植物の寄せ植えづくりは大人気！！



団体紹介と苔玉づくりデモンストレーション



ジャンケンゲームで苔玉プレゼント

- ◇ 県営春日公園からの依頼で、10月23日3つのケア施設から高齢の利用者さんが来園され、6基の腰高花壇の植付けを楽しまれました。これの指導に会員7名があたりました。



110歳の方も参加されていました！！



綺麗に出来たので達成感いっぱい指導員

- ◇ 10月29日は、韓国の農業技術センターから15名が研修に来られ園芸福祉についての講演依頼がありましたので、福岡県馬術競技場の会議室で園芸福祉活動などについて講演致しました。
- ◇ 11月4日福岡市立特別支援学校「博多高等学園」での今年度最後の授業は苔玉づくり、黒瀬講師の説明を生徒さんがよく理解して、2個、3個と完成させました。生徒さんたちが「上手にできるようになった」、「楽しかった」と話す笑顔が印象的でした。

- ◇ 11月14日は午前中に「勤マルの日」の事業を「園芸福祉の庭」で実施しました。今年の参加者は15名でした。子どもさんも2名参加されて、花壇の片付けやパンジーの植え付けなどを楽しまれました。皆さんで記念花壇を作って戴きました。



- ◇ 11月14日午後から初級園芸福祉士養成講座を開講しました。受講者は7名、15日、28日、29日の4日間の講座は欠

席者や事故などもなく、天候にも恵まれてモデルガーデンづくりもきれいに仕上がり、全講座を終えられ、黒瀬理事から修了証を授与されました。



- ◇ 12月1日、福岡県70歳現役応援センターに「園芸福祉ふくおかネット」を団体登録をいたしました。これにより同センターのホームページに掲載されました。「70歳現役応援センターは、高齢者が多様な活躍の機会を得られるよう、就業や社会参加を支援する総合拠点です。」詳しくは、<http://www.70-f.net/>：福岡県70歳現役応援センターを検索して下さい。
- ◇ 12月8日午後福岡市立特別支援学校「博多高等学園」から依頼があり、プランターや道路の花壇へのチューリップの球根の植えつけ方、花菜の播種の指導に携わりました。生徒さんは丁寧に作業を進め、水やりまで終わらせることが出来ました。時期が少し遅れての作業ですが、きれいに咲いてくれることを願っています。先に蒔かれていた花菜はもう蕾を付けていました。

### アイランドシティ中央公園で活動しています。

二俣 はるみ

平成23年に福岡市緑のコーディネーター、及び市民の有志により『あいランド はなの会』を立ち上げ現在、会員12名で活動しています。

アイランドシティ中央公園には育苗の施設と花壇が整っており、花づくりを一から体験することができます。私はこれまで育苗の経験がなかったので勉強になると思い参加しました。土作り、種まき、苗の鉢上げ、苗の管理、育てた苗で花壇づくり、苗の販売などの活動をしています。最初は何もかもが新鮮で、この公園も心地よく、楽しく通っていました。

しかし、設備があってもその維持管理には相当の人員と努力が必要です。花壇も大小合わせて5、6か所あり月2回の作業では十分な管理はむづかしいです。近所に住むNさんが率先して世話をしてくれることに感謝していますが、いつも人員不足を痛感しています。

今年で5年、せっかくの設備があるのに生かし切れていないのはもったいない。

ハーブを中心の畑があり、ここにブルーベリーが20本ほどありますが、これも生育が良くありません。これを何とかしたい。いずれは、アイランドシティ産のブルーベリーでジャムを作りたい。また、個人的に栽培したい花があるの



春の花の鉢上げ

でそれも育ててみたい等、何とかしなくてはという思いが強くなってきました。

今年はハイビスカスローゼルが元気に育ち、会員に実を十分に配ることができました。種もとれましたので来年も栽培します。ハイビスカスローゼルを育ててない方で苗や実、切り花を希望される方はご来園ください。

グリナリーセンターにて毎月、第1土曜日と第3水曜日（午前10時から12時まで）に作業しています。

作業の後はハーブティーとお菓子で賑やかに反省会をしています。興味を持たれた方は一緒に花を育ててみませんか。

## 介護の現場から園芸福祉を考える。

沖本 圓

訪問介護事業所で、正社員として働くようになって十か月が過ぎました。毎日が緊張の連続だった最初の頃に比べると、だいぶ落ち着いてきました。それでもいつ何が起こるかわからない、助けを必要とされている利用者の方々に向き合って安心安全な生活援助、身体援助を行うことが仕事ですから、言葉遣い一つから気を遣う毎日です。生活援助のお掃除や、身体援助の入浴介助サービスなどでは体力も求められます。60歳を節目に一から出直すつもりで、半年間実務研修を受け、今の職場、訪問介護事業所に正社員として雇っていただけたことは、とても幸運なことでした。失敗から学ぶことが許されていること、現場を任せられること、そして自分の行動に責任をもってきちんと報告し連携をとることを要求される職場です。



自分の仕事の結果がダイレクトに表れるシビアな職業でもあります。スタッフの皆さんがそれぞれの現場で、シビアで緊張した時間を働いて戻る場として、事務所には笑顔の挨拶と沢山の植物があちこちに置かれていて、疲れて帰ってきたスタッフを温かく迎えてくれるホッとする空間になっています。

訪問介護では、それぞれの利用者の方のご自宅に伺って、介護サービスを行います。広い庭のある一戸建ての家にはいらっしゃる方もおられますし、公団アパートのベランダで園芸を楽しんでいらっしゃる方もおられますが、園芸作業のサービスは生活援助の項目に入っていません。もちろん身体援助ではありません。ですから、庭仕事を介護サービスとして行うことは出来ません。介護サービスは介護保険から事業収入を得ている関係で保険点数にならないサービスを限られた時間の中で行う余裕はないのが実情です。ただし、利用者の方々のQOL（Quality of Life）「生活の質」の向上を図るという意味でコミュニケーションの一部として、アドバイスをしたり必要なものを買ってきたり（買い物サービスの範囲で）など出来る範囲で、お手伝いさせていただいています。植物の好きな利用者の方とその方が育てておられる植物の話



利用者さんが育てられ  
紅葉したポインセチア



事務所の車庫入り口、車庫内、事務所出入り口の沢山の植木鉢

で盛り上がり楽しくコミュニケーションが出来たりします。生き物の世話をしたり、成長や変化に関心をもったりすることが、生きる意欲につながり認知症の予防になったりする可能性もあります。

## 福岡市立中央特別支援学校の花活動



古荘 浩士

福岡市立中央特別支援学校の園芸活動をお手伝いするきっかけは、7年ほど前に福祉関係で知り合いになった障がい児童担当の先生との出会いでした。当時は屋形原の特別支援学校に勤務されており、私の方で花が余分に手に入ったときには届けたり、花の鉢上げ（NPO 法人グラウンドワーク福岡 主催）等で親交を深めていました。今年になり先生から久しぶりに電話があり、ドーム近くの中央特別支援学校に転勤になり花のことで相談を受けました。「担当する中学2年生に社会性を



つけさせたいと、プランターに花を植えて周辺の学校や公民館、幼稚園、高齢者施設にプランターを配って交流を深める計画を立てましたが、花のことはわからないので協力をお願いできませんか」という内容でした。近くの有料老人ホームの花壇整備を担当している米倉さんに相談し、福浜団地のボランティア仲間と5名で担当することにしました。花の手配は10月に花畑園芸公園（南区桧原）で開催したNPO 法人グラ

ウンドワーク福岡主催の花の鉢上げに同支援学校の親子、先生たちに参加してもらい、鉢上げした花苗を育てることから始めました。しかし、なかなか花苗が育たず、一部は園芸店で購入、プランターは6個所の施設12個、学校から3個計15個を用意しました。培養土と底石、肥料を準備し当日を迎えました。15名の子どもたちが先生と各班担当のボランティア仲間と一緒にプランターに花植えを行いました。始める前に植え方は説明しましたが大変でした。ポットから花先をつまんで出したり、土にポンと投げたり、何をしたらいいかわからず立っていたり、気になることがあるとどこかに行ってしまう。それでも何とか15個のプランターを仕上げました。最後に、先生と子どもから感謝の言葉をいただき、5名のボランティア仲間たちもほっと安堵しうれ



後日、3日間にわたり、リヤカーを引いて2か所に4個のプランター配りました。私は2日間、先生、子どもたち（17、18名）と当仁中学校・福浜公民館・宅老所よりあい・学校の隣の発達センターに2個ずつ配りました。どちらも職員さん、皆さんから感謝していただきました。これからもこの花のプランター配りは次の2年生へと引き継がれていきます。



### 新会員の紹介コーナー

◎今回はお休みです。次号をお楽しみに！

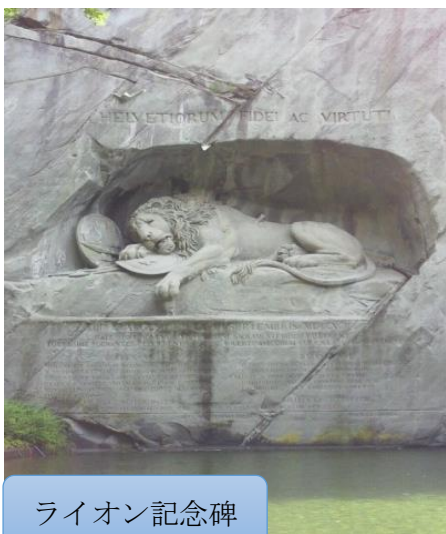
### ～ 憧れのスイス～

濱崎 真人

小学生の頃から憧れていたスイスを6泊7日の行程で旅しました。思い出に残った『ルツェルン』と『ツェルマット』をご紹介します。

#### 《ルツェルン》

チューリッヒの南西60kmにあるルツェルンは、1178年に建設されたスイス連邦発祥の地で、名所・史跡としては、フランス革命の時、ルイ王家を守り戦死した700名



ライオン記念碑

余の勇敢なスイス傭兵を悼んで造られた「ライオン記念碑」。現在もバチカン宮殿の護衛をスイス兵が担当しているのは、当時の名残とされています。

街のシンボルである屋根つきの木橋「カペル橋」は花が飾られ、とても美しかった。完成は1333年。1993年の火災で焼けてしまった箇所も修復されています。



カペル橋

《ツェルマツト》

マッターホルンの麓にあたるツェルマツトは、環境に配慮したガソリン車乗り入れ禁止のリゾート。運搬は小さな電気自動車と馬車、静かな環境と清冽な空気が保たれ、街全体がとてもきれいでした。

今回の旅で、残念だったのは本場のチーズ・フォンデュが食べられなかったこと、そしてハイジの故郷に行けなかったことです。

かすかに見える「マッターホルンの頂上」 →



← 花で飾られたホテル

運搬は電気自動車 →







## 事務局からのお知らせ



### ◆ 入会を希望される場合の手続きのご案内

- ◎ 園芸福祉ふくおかネットに入会を希望される方は、年会費 2,000 円を郵便局より下記の口座へお振込みください。
- ◎ 園芸福祉ふくおかネット 口座番号 01770-7-57288
- ◎ 振込用紙を送付しますので事務局までご連絡ください。

### ◆ 園芸福祉の庭 定例作業のお知らせ

- ◎ 毎月、最終日曜日の 10時から実施しております。

場所は、アイランドシティ中央公園（福岡市東区香椎照葉4丁目）園芸福祉の庭です。花壇の維持管理、花の植栽や除草、灌水などの手入れ作業を2時間程度実施しています。作業の後は、お茶を飲みながら和やかな時を共有し、花の育て方や土づくり、園芸に関することなど、日ごろの疑問に実践者が応えてくれるプチ勉強会の場にもなります。あなたも一歩踏み出して！ 「園芸福祉の庭」の定例作業に参加してみませんか。会話も弾み、笑顔がいっぱい、とっても楽しいですよー♪

### ◆ 定例会のご案内

- ◎ 園芸福祉ふくおかネットでは、毎月第3土曜日15時から2時間程度

福岡市ボランティアセンター「あすみん」で定例会を開催しております。

会員相互の情報や意見の交換、活動報告、作品の紹介、質問など役立つことがいっぱいです。定例会が終わってからの交流会は、本音が飛び交い、楽しい情報交換のひと時です。

**※NPO・ボランティア交流センター（あすみん）は、平成28年4月に移転します。**

### ◆ あなたも活動紹介をしませんか？

- ◎ 個人やグループ、学校、施設、地域などで行っている園芸福祉の活動をお知らせ下さい。
- ◎ メールやFAX、お手紙に写真を添えて、事務局までお送りください。

#### ● 園芸福祉ふくおかネット事務局 ●

- ・ 〒810-0033 福岡市中央区小笹 1-9-25
- ・ TEL : 090-8626-1586 (黒瀬)
- ・ FAX : 092-521-6247
- ・ E-mail : engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp
- ・ ホームページ : 園芸福祉ふくおかネット



園芸福祉の庭のいま



車いす利用の人たちと一緒に楽しむ花壇(レイズドベッド)



視覚に障がいのある人たちと一緒に楽しむ花壇



子ども達と一緒に楽しむ花壇



勤マルの日記念花壇